人材養成目的

良き医療者、すなわち優れた医療技術のみならず、しっかりしたコミュニケーション能力に裏打ちされた全人的対応のできるグローバルスタンダードに則った医療人、さらには医学、看護学、医療科学の分野における世界レベルの研究者を養成します。

医学類
看護学類
医療科学類

医療科学類

College of Medical Sciences

学士（医療科学）
■ Bachelor of Medical Sciences

学士（国際医療科学）
■ Bachelor of International Medical Sciences

人材養成目的

医学・医療の様々な分野で活躍するために必要な医科学の基礎的な知識、技能を修得し、医療人としての使命感と責任感を身に付け、将来、医療の向上と発展に貢献する医科学領域の研究・教育を推進する人材および診断や治療に必要な新たな技術の開発とその実践にかかわって高度専門医療を担う人材を養成します。

求める人材

医科学の分野に強い関心をいだき、医科学分野の研究や医学・医療分野の検査技術において国際的に活躍する意欲を持つとともに、チーム医療での役割を理解し、行動することができる柔軟性を持った人材を求めています。

卒業後の進路

卒業生は病院をはじめ、検査センターなどにおいて第一線の臨床検査技師として活躍しています。また、製薬、食品、化学関連の企業に就職し、その研究所で商品開発や研究で活躍することもできるでしょう。国際医療科学主専攻の学生は、卒業時に学士（国際医療科学）の称号が与えられます。また、3年次編入学生を除き、希望に応じ自由科目を選択することで、臨床検査技師国家試験受験資格を得ることもできます。なお、臨床検査技師の国家試験の合格率（新卒）は、令和2年度97%、令和3年度97%、令和4年度97%、令和5年度89%でした。

医療科学類

61%	18%	16%	5%
▼	▼	▼	▼
大学院	病院	企業 公務員	その他

就職先の例

企業

GEヘルスケア・ジャパン株式会社、株式会社NTTドコモ、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、エドワーズライフサイエンス社、アークレイ株式会社など

病院

筑波大学附属病院、医療生協さいたま生活協同組合、埼玉県立病院機構、総合病院土浦協同病院、医療法人社団哺育会白岡中央総合病院など

官庁・自治体

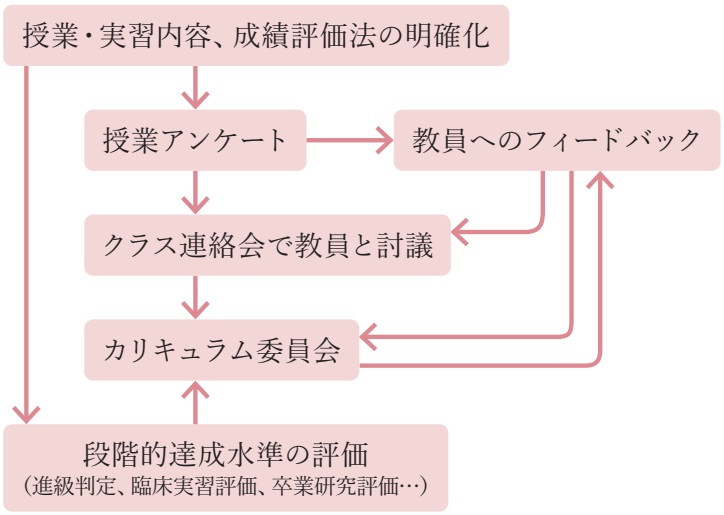
茨城県警察本部

教育の質の保証と改善の方策

学生の学修目標の達成度を小テストと確認テストで評価するとともに、学期終了時に行う授業アンケートにより教育課程の評価を継続的に実施し、それに基づいて学生との教育の課程や内容の検討会を行い、教育の質を改善する材料としています。さらに年度ごとに具体的に設定した教育の質の改善を目的としたFDによる教育の改善の方策を実施し、その成果を評価しています。

教育の質の保証のため、主専攻を選択する3年進級時において進級判定を行い、学生の教育課程の達成度の確認を行っています。さらに臨床実習前に学修の達成度を確認するとともに、客観的臨床能力試験にて技能と態度を評価し、臨床実習を履修する能力を保証しています。医療科学主専攻においては学内模擬試験による臨床検査技師の国家試験への対策と個別指導を行い、卒業時には臨床検査技師としての能力を保証しています。国際医療科学主専攻では英語で専門科目を履修する能力の水準と医科学研究の基礎学力を確認しています。

教育の質の保証と改善の方策



学士（医療科学）
Bachelor of Medical Sciences

学位授与の方針

筑波大学学士課程の教育目標に基づく修得すべき知識・能力（汎用コンピテンス）を修得し、かつ医学群医療科学類の人材養成目的に基づき、学修の成果が次の到達目標に達したと認められる者に、学士（医療科学）の学位を授与します。

- 人間に関する幅広い知識を身に付け、生命の尊厳と倫理を尊重する人間観を学んでいる。
- 人間科学の学習に必要な基礎知識と技能ともに、人間の健康と疾病に関する医学的知識を修得している。
- 臨床検査技術に関する基礎的な知識、技能を身につけ、臨床検査技師に必要な専門科目を修得して、臨床検査技師として備えるべき基礎学力、臨床能力ならびに倫理性を身につけている。
- 医科学分野における研究開発を経験し、自ら研究を推進する幅広い基礎学力、情報収集能力ならびに自学自習能力を獲得している。
- チーム医療の役割を理解し、臨床検査技師として行動する基礎能力と医療コミュニケーション能力を獲得している。

教育課程編成・実施の方針

学士（医療科学）に係る学修成果を身に付けるためのプログラムとして、次の方針に基づき教育課程を編成・実施します。

総合的な方針

臨床検査分野の基礎的知識と専門知識、関連技能、倫理性、臨床検査技師として社会に貢献する姿勢と基礎能力を養うことを目的として、臨床検査技師教育に必要な科目を中心により広い検査技術分野の科目を配した教育課程を編成・実施しています。

順次性に関する方針

教養、理系基礎科目で構成する基礎科目および医科学の基礎科目で構成する専門基礎科目を学修した後に専門科目の学修にすすむようにしています。専門科目では臨床検査技師として必要な専門知識と技能の修得を目的とした科目を中心に授業、実習で構成し、その履修を終えた後、病院における臨床検査技師の実践力を養うために病院実習を、さらに医療人としてのチームワークを形成するための医学類、看護学類との合同科目を置いて医療人としての能力を学修するようにしています。また、臨床検査分野に加えて広く医科学各分野の研究の基礎を学ぶための卒業研究を設定しています。

実施に関する方針

医療科学主専攻へは3年次進級の際に選択します。基礎科目、専門基礎科目、一部の専門科目の学修状況により、進級判定を行います。病院実習は臨床検査技師として必要な専門知識、技能の科目修得を条件として認めています。

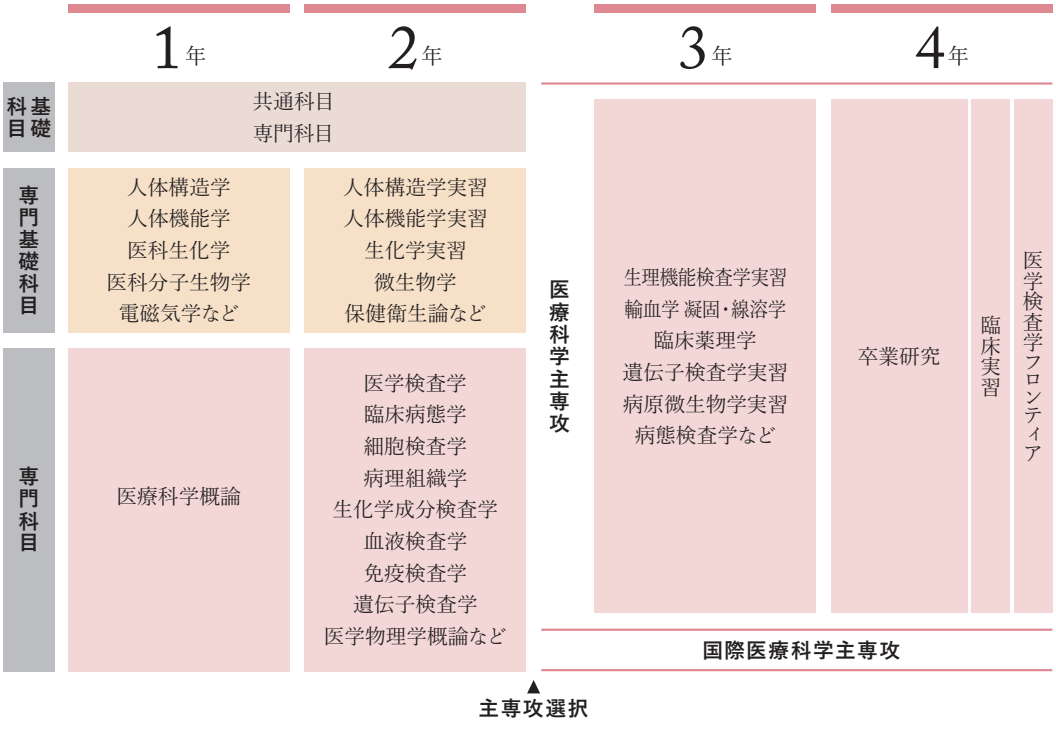
学修成果の評価に関する方針

医療人としての倫理性と人間性は、基礎科目の講義での学習成果について、試験等によってその到達度を客観的に評価します。人間の健康と疾病の理解は、専門基礎科目の講義・実習の学習成果について、試験やレポート等によってその到達度を客観的に評価します。臨床検査の知識と実践力は、専門基礎科目の講義・実習の学習成果について、試験やレポート等によってその到達度を客観的に評価します。さらに臨床実習で学習成果の評価もあわせて行います。医科学の研究推進能力は、卒業研究の学習成果を面談、卒業研究発表及び卒業研究論文で評価します。チーム医療の理解と実践能力は、ケア・コロキウムと臨床実習での学習成果を評価します。

特色

検査技術を中心に医療分野での専門知識と技能、臨床・チームワーク能力を養う授業・実習を中心とした教育を提供しています。

カリキュラムの構造



学士（国際医療科学）
Bachelor of International Medical Sciences

学位授与の方針

筑波大学学士課程の教育目標に基づく修得すべき知識・能力（汎用コンピテンス）を修得し、かつ医学群医療科学類の人材養成目的に基づき、学修の成果が次の到達目標に達したと認められる者に、学士（国際医療科学）の学位を授与します。

- 人間に関する幅広い知識を身につけ、生命の尊厳と倫理を尊重する人間観を学んでいる。
- 人間科学の学習に必要な基礎知識と技能とともに、人間の健康と疾病に関する医学的知識を修得している。
- 医科学分野における研究開発を経験し、自ら研究を推進する幅広い基礎学力、情報収集能力ならびに自学自習能力を獲得している。
- 医科学研究の原理と基本的な技術を身につけている。
- 医科学の分野において世界的に活躍できる基礎学力、技能、研究コミュニケーション力を修得し、国際的な問題を解決するために学ぶ態度と探索能力ならびに対応立案能力を獲得している。

教育課程編成・実施の方針

学士（国際医療科学）に係る学修成果を身に付けるためのプログラムとして、次の方針に基づき教育課程を編成・実施します。

総合的な方針

医科学分野の基礎的知識と専門知識、関連技能、想像力、倫理性、社会に医科学研究者としてグローバルに貢献する姿勢と基礎能力を養うことを目的として、医科学研究とコミュニケーション能力を養うための科目を中心とした教育課程を編成・実施しています。

順次性に関する方針

教養、理系基礎科目で構成する基礎科目および医科学の基礎科目で構成する専門基礎科目を学習した後に専門科目の学修に進むようにしています。専門科目では医科学研究に必要な研究法と英語での研究コミュニケーション能力を養うため英語による専門科目を多く配置しています。これらの専門科目を履修しながら研究とコミュニケーション能力の実践力を養うために長期間の卒業研究を設定しています。

実施に関する方針

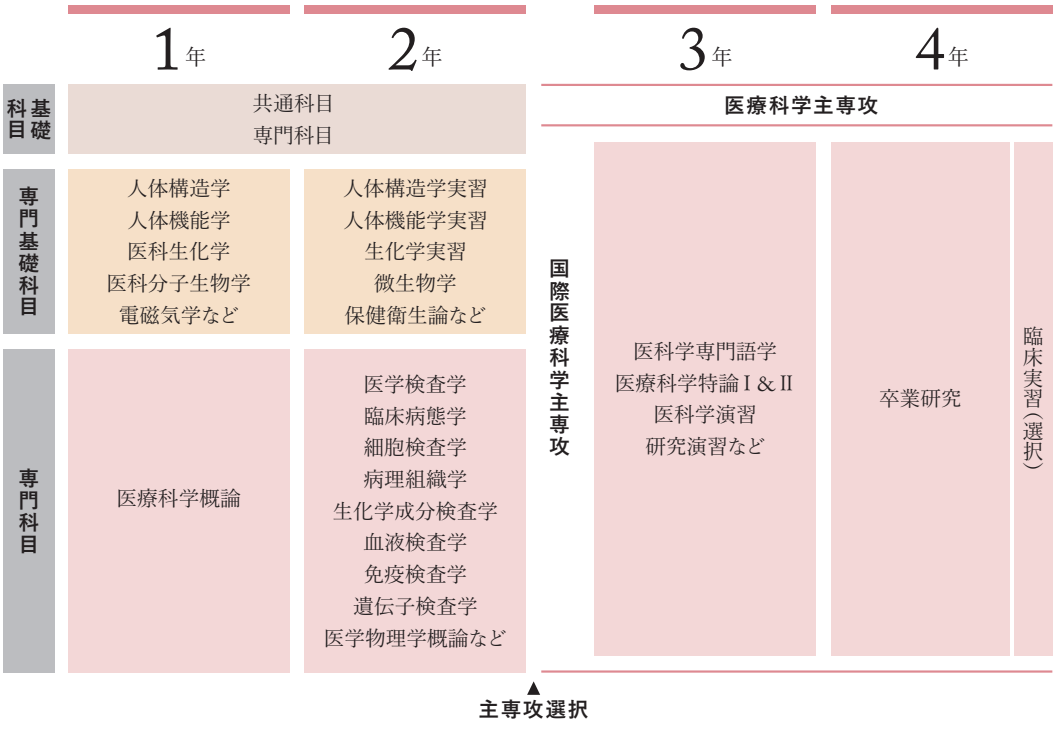
国際医療科学主専攻への3年次進級の際には、基礎科目、専門基礎科目、一部の専門科目の学修状況と英語力により、進級判定を行っています。専門英語の修得と討議能力を養うため専門科目を留学生とともに履修し、医科学研究の基礎能力と

将来を先見した専門能力を養うために早期のうちから指導者について、長期間の研究演習と卒業研究を行います。

学修成果の評価に関する方針

生命科学の倫理性と人間性は、基礎科目の講義での学習成果について、試験等によってその到達度を客観的に評価します。人間の健康と疾病の理解は、専門基礎科目の講義・実習の学習成果について、試験やレポート等によってその到達度を客観的に評価します。医科学分野の知識と技術は、専門基礎科目の講義・実習の学習成果について試験やレポート等によってその到達度を客観的に評価します。医科学の研究推進能力は、研究演習、卒業研究の学習成果を定期面談、卒業研究発表及び卒業研究論文で評価します。国際課題の理解と対応立案能力は、健幸医科学グループワーク、国際生命医科学研修、国際生命医科学、実践英語及び医科学専門語学での学習成果を評価します。

特色

国際医療科学主専攻は、留学生と共に英語の授業・実習により学び、医科学に関する専門知識と技能、想像力と学力を国際性の日常化の場面で身につけていく教育を提供しています。

カリキュラムの構造